

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
平山 篤志
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔

(五十音順)

今月の特集は「心血管治療としての心臓リハビリテーション」である。心筋梗塞後の心臓リハビリテーションは、ずいぶん以前から有効性が海外では示されていた。しかし、わが国ではごく少数の施設で行われていたものの、広く普及することはなかった。その大きな理由は、急性心筋梗塞の院内死亡率が25%と極めて高く、二次予防より目の救済に治療の目標がおかれ、循環器医師が忙殺されていたためである。急性期にステントを用いたインターベンションで確実な再灌流が行われるようになり、死亡率が5%程度になると、インターベンションで得られる短期的な効果より長期の予後改善、二次予防のための治療としての薬物療法、さらには薬物やインターベンションでは得ることのできない精神的な改善を含むリハビリテーションの有用性が広く認識されるようになった。しかし、医療も経済活動である以上、採算性が問題で、施設認定や専門の指導医、技師が必要となればリハビリテーションを積極的に行うことによる損失が問題であった。

ところが、リハビリテーションに対する認識が大きく変わりつつある。保険制度の改革によって、採算性が取れるようになったこともあるが、さらにチーム医療としてのリハビリテーションの、薬物療法を凌駕する予後改善の有効性、そして重症心不全患者のQOL改善の著明な効果が広く認識されるようになったことで、コメディカルを含めた患者さんと接している人達に有用性が広く認識されたことが背景にある。本特集でもプラークの安定化だけではなく、心不全治療としてのリハビリテーションについて詳細に述べられている。また、運動処方や具体的なリハビリテーションチームの立ち上げ方といった実践的な内容も含まれ充実した内容となっている。本特集が読者の参考になれば幸いである。
(平山篤志)

呼吸と循環(第59巻 第3号)

2011年3月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2011 年年間購読料)
冊子のみ 31,800 円 冊子+電子版 41,400 円
電子版/個人 31,800 円 電子版/共有 36,570 円
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY (株)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。